

第31回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会  
『新しくなった S-Net の紹介とデータ提供』

日時：2018年5月14日 13:30-17:00

場所：国立科学博物館 上野本館 日本館4階大会議室

サイエンスミュージアムネット（S-Net）システムは本年4月にインターフェイスが大幅に一新され、かなり使い勝手が向上したものと自負しています。また、データ項目などについても大幅に改訂を行いました。これらの変化は、利用者にとっても、データ提供者にとっても、大きな変化であると考えられます。また、システム更新にトラブルはつきものです。更新の初期段階でこれらのトラブルや使い勝手に関する意見を収集することが大切です。そこで、今回は、科博と担当者さんからの説明と利用者との間の意見交換を中心としたものにしたいと思います。これにより、現場の利用者のご意見を聴取し、利活用を推進することを目的とします。

会合の目的：

1. 新しくなったホームページを紹介する。
2. 現時点でのトラブルを把握する。
3. 新しい変換ツールを紹介する。
4. 今後の改善に向けてのニーズ・課題を把握する。
5. 利活用推進に向けての方策を検討する。

プログラム：

- 13:30-13:40 趣旨・背景説明  
細矢 剛（国立科学博物館）
- 13:40-14:40 新 S-Net システムの説明  
神保 宇嗣・水沼 登志恵（国立科学博物館）  
吉田 勇二（インフォコム（株））
- 14:40-15:00 休憩
- 15:00-16:00 変換ツールの使用とデータ提供  
水沼 登志恵（国立科学博物館）
- 16:00-16:30 S-Net の利用事例の紹介  
細矢ほか
- 16:30-17:00 総合討論～S-Net の利活用を推進するために～